

移住人材確保支援業務に係る事業提案Q&A

番号	質問	回答
1	<p>仕様書P3(2)イ協定校等との連携事業の実施について協定校等からの要望に応じ、協定校等でUIJターン就職相談会や就職準備ガイダンス、多くの京都企業に精通した者によるセミナー等(20回程度)とあるが、すべて合わせて20回程度と考えてよいかご教示ください。</p>	<p>UIJターン就職相談会、就職準備ガイダンス、多くの京都企業に精通した者によるセミナー等、すべてを合わせて20回程度としています。</p>
2	<p>令和4年度の仕様書「3(3)京都府UIJターンナビの運営・利用促進」に記載されている「ア サイト掲載内容の更新」および「イ サイトの保守管理費の負担」のいずれも、令和5年度仕様書には記載がないためUIJナビの運営自体が不要という理解でよいか。その場合、運用上の維持管理費(サーバ、ドメイン費含む)、保守管理費、改修費等は不要と考えるが問題ないか、以上2点についてご教示ください。</p>	<p>令和5年度は、京都府UIJターンナビの掲載内容の更新及び保守管理費の負担については、義務づけてはおりません。しかしながら、状況により、サイトの管理・改修等が必要となった場合には、仕様書11(2)の金額の範囲内で、対応について協議させていただく可能性があります。</p>
3	<p>評価・採択基準における「配置人員」について「現場責任者・事業総括責任者の配置計画があるか」とあるが、現場責任者＝事業責任者という理解でよいかご教示ください。</p>	<p>「評価・採択基準」の「1 評価基準」の「配置人員」について、「現場責任者」を「事業責任者」に訂正いたします。</p>
4	<p>評価・採択基準における「専門的なスキルが求められる業務への対応」について、その3項目、「～システム保守など」と記載があるが、具体的にはどのシステムの保守になるかご教示ください。</p>	<p>「評価・採択基準」の「1 評価基準」の「専門的なスキルが求められる業務への対応」について、「システム保守など」という表現が不適切であったため、「システムの活用など」に訂正します。民間運営サイトの活用による企画提案・事業展開やジョブこねっと等の管理者ページの操作、求職者へのジョブこねっと等サイトの操作説明などの場面において必要となるスキルを想定しています。</p>
5	<p>評価・採択基準における「過去3年間の目標値の達成状況」について、当該業務(京都ジョブパーク事業 移住人材確保支援業務)における過去3年間の弊社の実績という認識だが相違ないか。また、過去3年間のうち当該業務を受託していない期間があるケースはどのような採点となるのかご教示ください。</p>	<p>評価・採択基準における「過去3年間の目標値の達成状況」については、「京都ジョブパーク 移住人材確保支援業務」だけでなく、「京都ジョブパーク事業(雇用推進室所管)全体」における実績に基づき、採点いたします。過去3年間のうち、当該事業者が受託した京都ジョブパーク事業(雇用推進室所管)の各目標値の達成率の平均(合計を目標値数で除した率)に基づき、算出します。</p>